

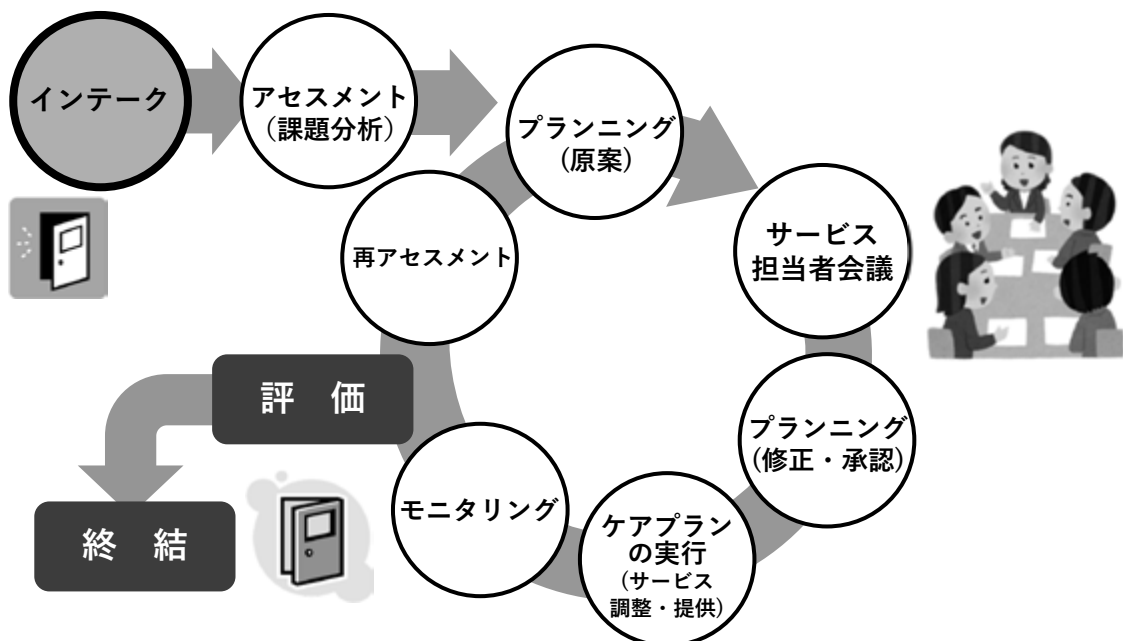
chapter\_5



## 5. 介護予防ケアマネジメントの過程 ～ インテーク ～

31

### 介護予防ケアマネジメント過程 ～インテーク～



32

## 事例紹介の前に

- これから紹介する事例は、  
あくまで架空のものです
- プロセスにおけるポイントを  
得るための題材にすぎません

33

## 事例の概要

別冊資料3頁をあわせてご覧ください

**氏名**：山本 春子 78歳(女性) 要介護状態区分：要介護1(初回) ⇒ 要支援2(更新)

**病歴**：令和2年6月10日(77歳)に肺炎で2週間入院(6/10～6/24)

**家族構成**：一人暮らし。

夫：3年前に癌で死去。

娘：高橋真由美(50歳)。専業主婦。遠方(大阪)に住んでいる。感染症流行もあって実家に帰ることもできず、心配している。

娘夫：高橋幸一(52歳)。会社員。

孫：高橋旬(19歳)。大学1年生。

**生活歴**：東京で生まれ育ち、25歳で銀行員の夫と結婚。28歳で長女出生。

子供が落ち着いてから料理教室の先生をしていた。

3年前に夫を癌で亡くしている。

夫を亡くした後、知人の紹介で、近所のいきいき地域サロンに参加していた。

1年程前に肺炎となり2週間の入院。その際に介護保険を申請し要介護1の認定。

入院を機にめまいが出現。肺炎の入院と愛犬プリンの死が重なり、本人はとてもショックを受けている。

めまいが起きてから、サロンに出かけるなど外出することが無くなり、感染症の流行もあって、ほぼ自宅で過ごしている。

**経緯**：1年前に肺炎となり、入院中に介護保険を申請し、要介護1の認定。

更新時に要支援2の認定となり、居宅ケアマネから包括センターに引継ぎを受けた。

**主治医意見書**：改善可能性あり。めまいについては、原因不明で不定愁訴の可能性が高い。活動量をあげ、体力向上が必要。

34

## みなさんならどのように展開しますか？

春子さん78歳、1人暮らし。原因不明の「めまい」と「ふらつき」があります。  
要支援・要介護認定の更新時期があり、更新。  
結果「要介護1」から「要支援2」になったことで、地域包括支援センターが担当となる。

### 【春子さんが要介護1のときに利用していたサービス】

ヘルパーが週に3回（家事援助：買い物・食事作り・掃除等）、「めまい」や「ふらつき」があったため、ヘルパーがサービス提供時に本人は入浴。配食サービスを週に5回、食事は全てフォーマル・インフォーマルサービスで用意され、外出はタクシーを利用して、通院する時だけに限定。娘は遠方に居住しており、日常の支援は困難とされていた。

### ケアマネジャーから引き継ぎ 地域包括支援センターに担当替え

申し送りを聞き、再アセスメントを実施  
⇒サービス内容を見直し  
「できること」と「できないこと」を改めて整理



35



## 利用者宅へ訪問 初回、利用者宅インテークシーン

この映像は研修のために作成したものであり、  
これから紹介する事例はあくまで架空のもので  
プロセスにおけるポイントを得るための題材にすぎません。  
地域の実情に応じて運用が異なる場合があります。

36

## 初回、利用者宅のインタビューポイント

### 利用者宅 玄関前～玄関

- 生活状況の確認（庭や玄関まわりなど）
- 反応時間から身体機能・運動機能の衰えなどを推察する

### 利用者宅 玄関外側～内側

- 玄関に置かれたモノから生活状況・趣味嗜好を推察する
- 歩行の様子から身体機能・運動機能の状況を確認
- 生活状況や生活臭等の確認